

中学校 技術・家庭科 【家庭分野】

1. 家庭分野における学習評価の基本的な考え方

家庭分野では、学習指導要領の各項目（内容のまとめ）に示された指導内容をいくつかまとめて題材を構成します。題材の設定に当たっては、学習内容の関連を図るとともに、履修学年等については各学校において定めるため、実際の指導に当たっては、「題材の目標」及び「題材の評価規準」を作成した上で、「題材の評価規準」を学習活動に即して具体化することが必要です。

2. 中学校家庭分野の学習評価の事例

中学校家庭分野の「内容のまとめ」は、「A 家族・家庭生活」(1)自分の成長と家族・家庭生活、(2)幼児の生活と家族、(3)家族・家庭や地域との関わり、(4)家族・家庭生活についての課題と実践、「B 衣食住の生活」(1)食事の役割と中学生の栄養の特徴、(2)中学生に必要な栄養を満たす食事、(3)日常食の調理と地域の食文化、(4)衣服の選択と手入れ、(5)生活を豊かにするための布を用いた製作、(6)住居の機能と安全な住まい方、(7)衣食住の生活についての課題と実践、「C 消費生活・環境」(1)金銭の管理と購入、(2)消費者の権利と責任、(3)消費生活・環境についての課題と実践の 14 項目に分けられます。この内容のまとめを踏まえた学習評価の事例を、第 2 学年「B 衣食住の生活(4)衣服の選択と手入れ、(5)生活を豊かにするための布を用いた製作」で説明します。

例 第 2 学年「健康・快適で持続可能な衣生活」

(1) 題材の目標の設定

題材の目標は、学習指導要領に示された目標ならびに題材で指導する項目及び指導事項を踏まえて設定します。



- (1) 衣服と社会生活との関わり、目的に応じた着用、個性を生かす着用、衣服の適切な選択、衣服の計画的な活用の必要性、日常着の手入れ及び製作するものに適した材料や縫い方、用具の安全な取扱いについて理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。
- (2) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見いだして課題を設定し、様々な解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとする。

(2) 題材の評価規準の設定

題材の目標と「内容のまとめごとの評価規準」を踏まえて、評価の観点ごとに具体化、整理・統合するなどして作成します。

「内容のまとめごとの評価規準(例)」は、国立教育政策研究所「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料 p 129～133 に示されています。

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・衣服と社会生活との関わりが分かり、目的に応じた着用、個性を生かす着用及び衣服の適切な選択について理解している。 ・衣服の計画的な活用の必要性、衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れについて理解しているとともに、適切にできる。 ・製作する物に適した材料や縫い方について理解しているとともに、用具を安全に取り扱い、製作が適切にできる。 	<p>衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について、①問題を見いだして課題を設定し、②様々な解決策を考え、③実践を評価・改善し、④考察したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。</p>	<p>よりよい生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方、生活を豊かにするための布を用いた物の製作について、①課題の解決に主体的に取り組んだり、②振り返って改善したりして、③生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

「思考・判断・表現」については、

- ① 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見だし、解決する課題を設定する力
- ② 解決の見通しをもって計画を立てる際、生活課題について多角的に捉え、解決方法を検討し、計画、立案する力
- ③ 課題の解決に向けて実践した結果を評価・改善する力
- ④ 計画や実践について評価・改善する際に、考察したことを論理的に表現する力の 4 つの評価規準を設定している。

「主体的に学習に取り組む態度」については、

- ① 粘り強さ
 - ② 自らの学習の調整
 - ③ 実践しようとする態度
- の 3 つの側面から評価規準を設定する。

(3) 題材の指導と評価の計画 (全 14 時間) の作成

小題材	時	ねらい・学習活動	評価規準・評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
衣服の一生	1	○健康・快適で持続可能な衣生活を送るための課題をつかむ。 健康・快適で持続可能な衣生活を送るためには、どのようなことが大切なのだろう	最初に、単元全体を通した課題を設定する。	○健康・快適で持続可能な衣生活を送るために、衣服の選択、手入れ、再利用などについて問題を見いだして課題を設定している。 ・ポートフォリオ	評価規準と評価方法を示す。
2・3 衣服の選択と着用 (省略)					
衣服を長く大切に	4 5	○衣服の材料や状態に応じた手入れ(洗濯)について理解し、適切にできる。 ・日常着の洗濯について課題を設定する。(油汚れ、色物、縮み等) ・グループで解決方法を調べたり実験したりする。 [指導に生かす評価]: 日常着の補修として、まつり縫いやスナップ付けなどを理解し、できているか確認する。 [記録に残す評価]: 生徒の練習布の様子を写真に撮影する。 [十分満足できる]状況(A)の事例「ポケット口は縫い目が目立たないようにした方が、自分の作りたいものにあっているので、まつり縫いにした」(作りたい物、縫う箇所に応じて縫い方を選んでいる)	○衣服の材料や状態に応じた日常着の洗濯の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・行動観察 ・相互評価	①【材料や状態に応じた日常着の洗濯の仕方について】問題を見いだして課題を設定している。 ・ポートフォリオ ②【同】考え工夫している。 ・ポートフォリオ ③【同】実践を評価したり改善したりしている。 ・ポートフォリオ ④【同】根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり発表したりしている。 ・ペーパーテスト例1	①衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。 ・ポートフォリオ ・行動観察 ②衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、課題の解決に向けた一連の活動を振り返って改善しようとしている。 ・ポートフォリオ ・行動観察
	6 7	○衣服の状態に応じた手入れ(補修)について理解し、適切にできる。 ・小学校で学んだ縫い方を振り返る。 ・まつり縫いの特徴をまとめる。 ・まつり縫いによる補修について、目的と布地に合った方法を考え実習する。	○衣服の材料や状態に応じた日常着の補修の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・練習布・相互評価		③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の選択、材料や状態に応じた日常着の手入れの仕方について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ポートフォリオ
8~13 (省略)					
健康・快適で持続可能な衣生活を送るために	14	○再利用の作品の発表をするとともに、これまでの学習から、健康・快適で持続可能な衣生活を送るために大切なこと(衣服の選択、手入れ、再利用について)をまとめる。 ・友だちの作品を見て相互評価し、参考にすることをまとめる。		④【同】考察したことを根拠や理由を明確にして筋道を立てて説明したり、発表したりしている。 ・ポートフォリオ	③よりよい衣生活の実現に向けて、衣服の再利用の製作計画や製作について、工夫し創造し、実践しようとしている。 ・ポートフォリオ例2

「思考・判断・表現」の評価事例(第5時) 例1

衣服の手入れ(洗濯)に関するパフォーマンステスト

○次のような場合、あなたはどのような工夫をして洗濯を行いますか。

・洗濯かごの中に、母の花柄のエプロン、父の紺のTシャツ、姉の毛のセーター、野球で汚れた弟の靴下、自分の綿のワイシャツ、バスタオル、フェイスタオルが入っています。あなたはどのような工夫をして洗濯をしますか。その理由も書きなさい。

「おおむね満足できる」状況(B)

☒ 全部一緒に洗うのではなく、洗濯するものを分けて洗剤や洗い方を区別する。理由は素材によって縮んだり、しわになつたりするから。

「十分満足できる」状況(A)

☒ 綿のワイシャツは、しわにならないようネットに入れ脱水を短めにする。手洗いする。弟の靴下は、洗濯機で洗うだけでは汚れが落ちにくいし、他の洗濯物も汚れるから先に手洗いのする。(工夫点や理由を具体的に記述している)

「主体的に学習に取り組む態度」の評価事例(第14時)

「これからあなたが大切にしていけることは何ですか。」例2

<ポートフォリオの記述から>

「おおむね満足できる」状況(B)

場に応じた衣服の選択を考えたり、汚れに合った洗濯をしたり、使えそうなものは再利用したりすることが健康・快適で持続可能な衣生活を送ることにつながると思うので大切にしていきたい。(題材全体の学習内容を踏まえ、生活の中で実践していこうとしている)

「十分満足できる」状況(A)

…。表示を確認して素材に応じた手入れをしたり、汚れに応じた洗濯をしたりすることで、衣服を長持ちさせたい。再利用できるものはないか考え、自分や家族の衣服など整理することが大事で、…。(工夫し、実践する内容を具体的に記述している)